

レジメン番号	0203	レジメン名	R-Benda
登録診療科	血液内科	使用薬剤	リツキサン/リツキシマブ BS、 トレアキシン
がん腫	悪性リンパ腫	インターバル日数	21日または28日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者投与量	Day1 (/)	2 (/)	3 (/)	…Day21 または 28	Day1 (/)
リツキサン/リツキシマブ BS 375 mg/m ²	点滴	mg	↓			1 コース 21 または 28 日 として繰り返す	↓
トレアキシン(bendamustine) 90mg または 120mg/m ² /日	点滴	mg	(↓)	↓	(↓)		
(支持療法) ※1 Day1 経口剤あり							
A) パロノセトロン 0.75mg B) グラニセトロン 1mg	点滴	○ を mg	(↑)	↑	(↑)	Day2 で A)使用の場合 Day3 では A) B)とも使用不可	↑
デキサート 6.6mg/body	点滴	mg	(↑)	↑	(↑)	1 コース 21 または 28 日 として繰り返す	↑

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
①リツキサン/リツキシマブ BS	100mg	生食	※2 下記参照/輸注ポンプ
	500mg	初回：1mg/mLに希釈 2回目～：1~4mg/mlに希釈	
②トレアキシン(bendamustine)	100mg	生食 250ml	60-90分/点滴 医師に確認
	25mg	(1V40ml 注射用水で溶解)	
③	パロノセトロン	生食 100ml	30分/点滴
	グラニセトロン		
	デキサート		

【day1】 リツキサンのみの場合

投与間隔>> ※3
(メインルート/持続)

投与順番>> ⑤ → ① → 終了

リツキサン+トレアキシン同日投与の場合

投与間隔>> ※3
(メインルート/持続) (側管 30分) 指示通り

投与順番>> ④ → ① → ③ → ② → 終了

【day2,(3)】

投与間隔>> ④ ※3 (メインルート/持続) ③ (側管 30分) ② (指示通り) 終了

【備考】

※1 リツキサン/リツキシマブ BS 投与前、解熱鎮痛剤及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※2 初回投与時、最初の 30 分は 50mg/h で開始し、患者の状態を十分観察しながら、
注入速度を 30 分毎に 50mg/h ずつ上げて、最大 400mg/h まで速度を上げることができる。

2 回目以降の投与速度は下記のいずれかを選択可能 (リツキシマブ BS は(2)を選択不可)

(1)初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/h で開始し、その後 30 分毎に 100mg/h ずつ上げて、
最大 400mg/h まで上げることができる。(1mg/ml に希釈しているときのみ選択可能)

(2)臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が
5,000/μL 未満である場合、90 分で投与 (最初の 30 分：投与量の 20%、その後 60 分：投与量の 80%)

※3 ④⑤生食 500mL (メインルート)